



春の訪れ  
球春到来!!

(第15回星輝旗争奪選抜学童野球大会：宇ノ気野球場にて)

平成26年度 一般会計予算

143億6千万円  
を可決

### CONTENTS

平成26年 第1回 定例会	2
当初予算の主要施策	4
審議の結果	6
一般質問(7人が登壇)	9
常任委員会レポート	16
議会報告会開催報告	19

第42号 発行日/平成26年5月1日

編集/かほく市議会広報特別委員会

〒104-8501 東京都中央区新富1-1-1  
発行/石川県かほく市議会  
住所/石川県かほく市宇野気1-81番地

E-MAIL gikai@city.kahoku.ishikawa.jp  
076(2283)7126 FAX076(2283)7188

## 高橋議員に対して政治倫理審査会を設置

**判決**

原告らの請求をいずれも棄却する。  
・訴訟費用は原告らの負担とする。  
旧七塚町議会で相応の審査を経ており、本件支出行為に違法性は認められない。

**被告**

「損失補償契約」は金融機関の信頼を維持・確保し、安定した取引のため必要であった。旧七塚町議会において審議可決されており、同契約の必要性も審査されている。よって「損失補償契約」は有効であり、同契約に基づく支出行為は適法である。

**原告**

七塚観光株式会社は借入金で、かほく市が補償したのは違法であると、高橋議員他5名が住民訴訟を起す。  
「損失補償契約」は、旧七塚町議会において十分な審議がされておらず、形式的に議決されたものであり無効である。よって支出は不法行為である。

**論点**

「損失補償契約」は金融機関の信頼を維持・確保し、安定した取引のため必要であった。旧七塚町議会において審議可決されており、同契約の必要性も審査されている。よって「損失補償契約」は有効であり、同契約に基づく支出行為は適法である。

**控訴せず確定**

被告側の弁護士費用約800万円は市負担

**決議**

議会議決の重みを軽視した高橋議員に対し「本会議での謝罪を求める決議」を全員賛成(本人退場)で可決。

政治倫理審査会設置までの流れ

**政治倫理審査会を設置**

6人の委員を選任

かほく市議会議員政治倫理条例第5条の規定により、別宗明敏議員ほか2名から、高橋成典議員を審査請求対象議員とする審査請求があり、同条例第6条第1項の規定により、市議会政治倫理審査会を設置した。  
同条2項の規定により、市議會議員政治倫理審査会委員を次のとおり選任した。

会長	竹内 幹雄
副会長	板谷 悦郎
	猪村 博靖
	寺内 照雄
	杉本 成一
	多々見邦次

**弁明**

判決は不当判決であり、判決に承服していない。よって謝罪する考えはない。

### 議会を傍聴しませんか

次の定例会は6月10日からです。  
本会議・常任委員会などを傍聴できます。  
議会は身近なものです。  
どのような議論が交わされているのかぜひ傍聴においでください。  
本会議は30名、常任委員会・全員協議会は8名の定員で受付順となります。

本会議はケーブルテレビ「かほくチャンネル」で生中継・録画を見ることができます。  
常に「開かれた議会」を目指しています。何なりとご意見をお寄せください。



### 委員のひとり言

来年の3月には北陸新幹線が開通し、多くの人々が石川県を訪れます。この地域も飛躍的に発展する機会が到来し、大変大きな変革の時と考えられています。  
かほく市も合併し10年たち、未来に向けての歩みが始まります。先人たちが築いた歴史や文化、豊かな自然を大切に、地域活性化に取

り組まねばなりません。市民のニーズがしっかりと市政に反映されているか、また負託に応えているのか、省みながら、未来に向けて「おおきな交流の輪」をひろげ歩みつけていきたいと思っております。  
議会だよりの作成にあたり、誰にも親しまれるよう心掛けます。  
(坂井 正朝)

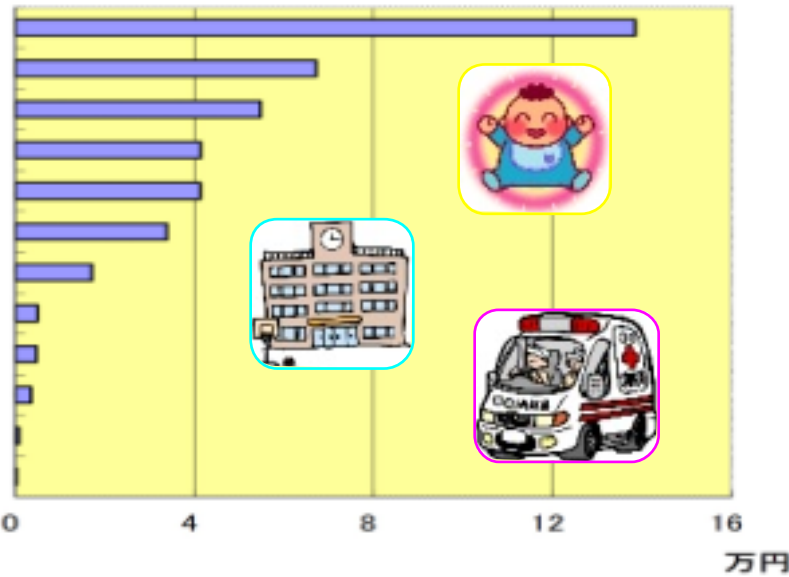
# 市民1人あたりの予算（一般会計）

市民1人あたりの予算額を算出してみました。

市民1人あたりの予算額(目的別)

項目	1人あたり予算額
民生費	138,486円
公債費	67,229円
総務費	54,849円
教育費	41,450円
土木費	41,357円
衛生費	33,933円
消防費	17,170円
農林水産業費	5,036円
議会費	4,775円
商工費	3,554円
労働費	842円
予備費	285円
全体	408,965円

人口 35,113人 (2月末現在)



# 家計簿に置き換え（一般会計）

年間500万円支出する家庭に例え算出してみました。

【収入】		
区分	金額	対応する予算
給料	314万円	
うち基本給	310万円	市税、地方交付税
うち諸手当	4万円	地方譲与税
パート収入	12万円	使用料及び手数料 分担金及び負担金
雑収入	33万円	諸収入ほか
親からの仕送り	87万円	国庫支出金、県支出金 地方消費税交付金ほか
ローンの借入	54万円	市債
貯金の取り崩し	0万円	繰入金
収入合計	500万円	

借入金の残高 1013万円 市債残高(一般会計分)  
貯金の残高 248万円 基金残高

【支出】		
区分	金額	対応する予算
食費	85万円	人件費
生活費 (光熱水費、雑費)	163万円	物件費、補助費等 維持補修費
ローンの返済	82万円	公債費
家の増改築など	64万円	普通建設事業費
子どもへの仕送り	26万円	他会計への繰出金
医療・介護・教育費	79万円	扶助費
雑支出	0万円	投資及び出資金
定期預金	1万円	積立金
その他の支出	0万円	貸付金
支出合計	500万円	

単純に比較できない部分もありますので、参考としてみてください。

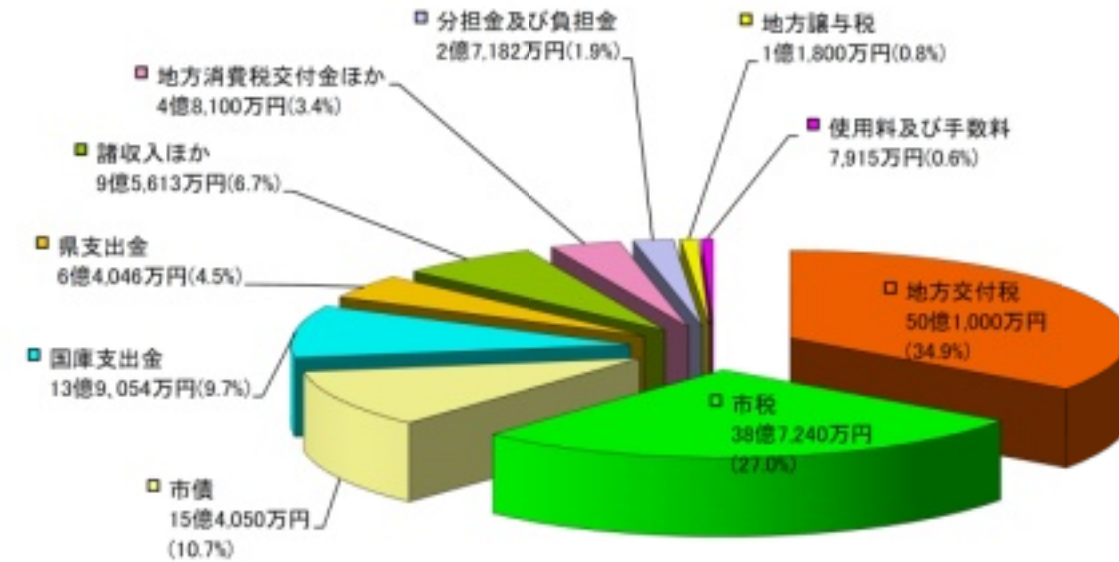
## 一般会計当初予算の推移

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
142億1000万円	162億9000万円	148億8000万円	141億3000万円	143億6000万円

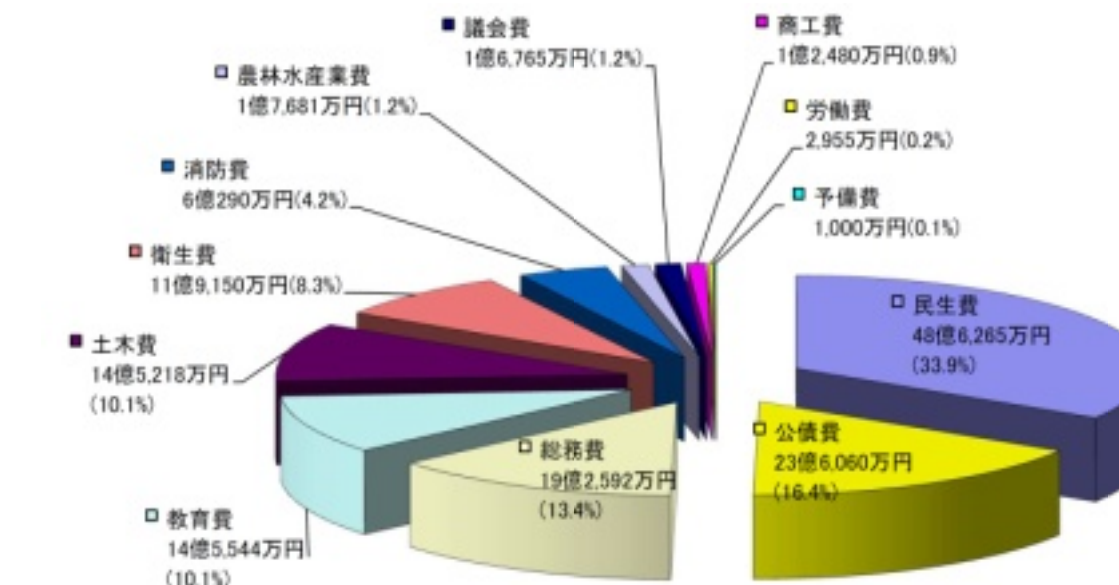
# 平成26年 第1回定例会

会期 / 2月26日 ~ 3月19日

平成26年度一般会計予算、平成25年度一般会計補正予算など、29議案及び、最終日提出の追加議案2件について審議し、原案のとおり可決した。  
また、教育委員の任命など同意案件3件についても原案のとおり同意した。



歳入



歳出

平成26年度一般会計予算  
143億6千万円の内訳

## 特別会計予算

市営バス特別会計	1,895万円	後期高齢者医療特別会計	3億3,000万円
墓地特別会計	1,397万円	介護保険特別会計	29億1,200万円
ケーブルテレビ事業特別会計	8,600万円	大海財産区特別会計	220万円
国民健康保険特別会計	36億2,000万円	合計	69億8,312万円

## 事業会計予算

水道事業	収益的収入	6億8,161万円	資本的収入	1億8,710万円
	収益的支出	6億4,600万円	資本的支出	4億400万円
下水道事業	収益的収入	16億7,302万円	資本的収入	7億8,353万円
	収益的支出	18億2,847万円	資本的支出	14億4,591万円

# 国の経済対策と歩調を合わせ 景気対策に切れ目のない予算編成

**子ども医療費助成事業の拡充**  
対象年齢の拡充  
8千719万円

子ども医療費の助成対象を15歳から18歳までに引き上げ。  
**子育て世帯臨時特例給付金**  
5千177万円

消費増税による子育て世帯への負担軽減のため、児童手当受給者に対し、児童1人あたり、1万円を給付。  
**臨時福祉給付金**  
8千600万円

消費増税による低所得者への負担軽減のため、対象者1人あたり1万円を給付。  
**予防接種事業の拡充**  
9千232万円

従来実施している予防接種に加え、新たにゼロ歳児から就学前までの児童に対しB型肝炎予防接種の助成を実施。  
**総合学力調査の拡充**  
220万円

小学校4年生以上を対象に行っている学力調査について、新たに3年生の国語と算数を加え、基礎学力の把握改善を図る。  
**スクールバス**  
730万円

スクールバス（さくら号）更新。

**子ども発達相談支援センター事業の充実**  
6千308万円

教育センターと連携しながら、市内18歳未満の子どもの相談・支援を実施。  
成長応援ノートにより、保育園児から中学生まで一貫した連携体制を構築。  
**特定健診の普及**  
2千878万円

特定健診の受診を積極的に勧奨し、市民の健康意識の啓発を図る。  
**介護予防事業の充実**  
1千777万円

認知症予防、筋力トレーニング、ひざ痛予防教室などを開催するほか、地域での健康教室や介護予防サポーターの活動を支援し、介護予防に取り組む。  
**健康なまちづくり事業の展開**  
136万円

健康なまちづくり研究会を設置し、地域での健康への取り組みを検討、また、生活習慣病予防セミナーやウォーキングロードを活用し、市民の健康増進を図る。

**第3次かほく市行政改革大綱**  
48万円

平成27年度から平成31年度までの5年間の計画を策定。  
**第3次かほく市定員適正化計画**  
第3次市行政改革大綱の策定と合わせ、職員の適正配置を含めた定員適正化計画を策定。  
(平成27年度)平成31年度)  
**第2次かほく市総合計画**  
364万円

平成28年度から平成37年度までの10年間の市総合計画を2力年かけて策定。  
(2力年で864万円)  
**アクロス高松の提案型指定管理者制度**  
778万円

提案型公募による指定管理者の新たな管理運営体制の開始。  
**大海交流センターの指定管理者制度**  
778万円

直営の管理体制から指定管理者制度を導入。  
**ひかり電話の整備**  
102万円

庁舎に光回線を活用した、ひかり電話を整備し電話料の抑制を図る。

**下水道事業の公営企業会計の導入**  
1億7千618万円

国の指針により、地方公営企業法を適用し、特別会計方式から企業会計方式へ移行。  
**包括的民間委託の継続**  
公共下水道施設、農業集落排水施設、上下水道施設について、包括的民間委託を導入。  
**消費税増税に伴う各種使用料などの改定**  
国による消費税の増税に伴い、以下の各種使用料などを変更。  
1、水道料金、水道加入分担金  
2、下水道料金  
3、ケーブルテレビ使用料、ケーブルテレビ加入契約料  
4、小中学校給食費  
**市債の発行抑制**  
建設事業財源として、交付税導入のある有利な市債を活用するとともに、単年度の市債借入総額を公債費元金償還額以下に抑え、将来負担の軽減を図る。

主な事業を抜粋して掲載しています。

# 合併から11年目の新たなスタートの年 平成26年度 4つの重点施策

**若者マイホーム取得奨励金**  
4千500万円

市内に住宅を新築・購入する45歳未満の方に対して奨励金を助成。  
**新婚さん住まい応援事業**  
1千343万円

40歳未満の新婚世帯で市内の賃貸住宅に住む場合、賃貸料の一部を助成。  
**雇用促進住宅の取得**  
7千459万円

宇ノ気第二宿舍2棟、高松宿舍2棟を購入し、老朽公営住宅からの住替え及び住宅確保を図る。  
**西田幾多郎記念哲学館を核とした情報発信**  
3千339万円

北陸新幹線金沢開業を見据え、「県外大学ゼミの誘致」、「哲学館国際シンポジウム開催」や「展示施設のリニューアル」などの各種事業を実施。  
**かほく市観光物産協会の設立支援**  
220万円

市内の観光、物産関連の各団体と連携し、観光事業の推進と、地域物産の販売促進を図る。

**かほく市制施行10周年記念事業**  
3千106万円

「記念誌の作成」、「テレビ番組の誘致」、「小学校体育大会の実施」や「かほく四季まつり」の拡充など各種事業を実施。  
**青少年のスポーツ競技、文化活動への支援**  
200万円

中学生以下の全国大会などの出場者に対し必要経費助成を拡充。  
**自治振興補助金**  
1千691万円

自治活動の活性化のため、自治振興補助金を拡充。  
**町会区の区道など生活道路整備への補助金の創設**  
300万円

町会区で管理している区道の改良・補修に対し、費用の一部を補助することにより、地区負担の軽減や生活道路の維持を図る。  
**旧七塚庁舎、旧七福神センターの取り壊し**  
2億7千万円

旧七塚庁舎及び旧七福神センターを取り壊し、跡地利用として企業誘致などに活用。

**自主防災組織の活動支援**  
812万円

防災士へのベスト・帽子の貸与、市独自の防災士研修・育成研修費の助成や自主防災組織活動の補助などの事業を実施。  
**緊急車両の更新整備**  
2千46万円

宇ノ気第3分団消防ポンプ車・常備消防の広報車などを更新。  
**消防施設の改修整備**  
3千522万円

消防本部、高松分署庁舎屋上防水工事、消防本部救助訓練塔の老朽改修を実施。  
**除雪車**  
1千200万円

除雪ドーザー（8t級）1台を購入。  
**雨水幹線長寿命化計画**  
1千231万円

雨水幹線の管渠など老朽化に伴う長寿命化計画を策定。  
**EVSスタンド**  
712万円

庁舎に、急速充電設備1基などを整備。

**海岸漂着物対策**  
2千100万円

海岸を保全するため、漂着物の除去を実施。  
**小中学校の改修整備**  
4千212万円

宇ノ気小学校屋内運動場屋上防水工事、金津小学校大規模改修設計などを実施。  
**体育施設の整備改修**  
1億1千668万円

高松グラウンド・ゴルフ場拡張整備、アクロス高松設備機器更新や河北台健民体育館屋根改修などを実施。  
**上下水道施設の整備改修事業**  
2億1千762万円

中沼配水場取水及び導水管整備設計・工事や国道拡幅に伴う配水管布設工事などを実施。  
**宇ノ気中央統合保育園**  
4億4千703万円

(仮称)宇ノ気中央統合保育園を、現在の新化保育園にて整備。  
**生活支援道路の整備**  
2億円

生活支援道路の維持修繕。(地区要望分)

主な事業を抜粋して掲載しています。

## 一、新たな賑わいと地域活性化への取り組み

## 二、安全・安心なまちづくりと社会基盤の整備

## 三、子育て支援の充実と健やかな暮らしの実現

## 四、持続可能な行財政基盤の確立

審議された案件（議決は3月19日）

案件	議案名等 内容	議決結果	
		賛成	反対
請願 (3件)	「特定秘密の保護に関する法律」の廃止・撤廃を求める請願	2	12
	T P P 交渉の内容開示等を求める請願	1	13
	米の需給と価格に責任を持つ米政策の確立を求める請願	1	13

審議された案件（議決は2月26日）

案件	議案名等 内容	議決結果	
		賛成	反対
人事 (3件)	かほく市公平委員会の委員の選任につき同意を求めることについて 荒木秀俊委員の任期満了に伴い、引き続き再任するもの	13	0
	かほく市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて 猪村毅委員の任期満了に伴い、引き続き再任するもの 猪村毅氏は平成26年4月2日に急逝されました。お悔やみ申し上げます。	13	0
	かほく市教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	13	0
	架谷瞬華委員の任期満了に伴い、新たに山本滝男氏を任命するもの		

欠席議員1名

最終日（3月19日）追加提出され、審議された案件（議決は3月19日）

案件	議案名等 内容	議決結果	
		賛成	反対
予算 (1件)	平成25年度かほく市一般会計補正予算（第7号） 七塚観光株式会社の借入金、かほく市が補償したのは違法であるとの住民訴訟について、金沢地方裁判所から、原告らの請求をいずれも棄却する判決があり、原告側が控訴しなかったことに伴い、判決が確定し、今回の損害賠償請求事件の受任弁護士に支払う弁護士費用に係る補正	14	0
議会提出 (1件)	市議会議員 高橋成典君に対し、本会議での謝罪を求める決議について 決議文については、下記に記載	13	0 (本人退場)

2月25日に、高橋議員（他5名）による住民訴訟に対する判決があり、原告の訴えは全て棄却され、原告は控訴せず判決が確定した。その訴えの中に、自らが議員であった七塚町議会の審議を「十分な審議ではない」「形式的な議決」と町議会及び自らをも否定するような訴えをしていたことから下記の決議に至った。

市議会議員高橋成典君に対し、本会議での謝罪を求める決議



七塚観光株式会社の損失補償での裁判で、原告のひとりである高橋成典議員は、当時の七塚町議会において「損失補償契約に関する十分な審議がなされていない」と主張し、市民に誤解を招くような内容のチラシを配付するなどの議員活動を行っていた。これまで、我々議員が主張してきたとおり、今回の裁判での判決も「議会で相応の審議を経た上で議決が行われたものである」との判決であり、これまでの高橋成典議員の行動は、議会としての品位を損ね、侮辱しているといわざるを得ない。よって、かほく市議会は高橋成典議員に対し、本会議での謝罪を求めるものである。また、一刻も早く信頼が回復されるよう、かほく市議会として高橋成典議員に対し、市民への謝罪及び説明責任を果たすことについても強く要望する。以上、決議する。

提出議員 別宗 明敏  
賛成議員 杉本 正一  
金田 正信  
(本人退場で、全員賛成)

この決議に対して、高橋議員は控訴しなかったにもかかわらず「判決は不当判決であり、判決に承服していない。よって謝罪する考えはない」と述べた。弁明を受け、政治倫理審査会を設置し審査することとなった。（P20 裏表紙へ）

提出された議案と審議結果

審議された案件（議決は3月19日）

案件	議案名等 内容	議決結果	
		賛成	反対
予算 (16件)	平成26年度かほく市一般会計予算	13	1
	平成26年度かほく市営バス事業特別会計予算	14	0
	平成26年度かほく市墓地特別会計予算	14	0
	平成26年度かほく市ケーブルテレビ事業特別会計予算	14	0
	平成26年度かほく市国民健康保険特別会計予算	14	0
	平成26年度かほく市後期高齢者医療特別会計予算	14	0
	平成26年度かほく市介護保険特別会計予算	14	0
	平成26年度かほく市大海財産区特別会計予算	14	0
	平成26年度かほく市水道事業会計予算	14	0
	平成26年度かほく市下水道事業会計予算	14	0
	平成26年度当初予算10会計の内容については、2ページから4ページに内容を記載		
	平成25年度かほく市一般会計補正予算（第6号）	14	0
	・年度末における実績見込みに伴う精算補正 ・旧高松町の土地開発公社が学園台地内で先行取得した土地の買戻し費用 ・小中学校の屋内運動場などの非構造部材の耐震化工事費 ・上田名、余地内における担い手育成基盤整備事業の県負担金 ・農業用のため池の被害想定や避難行動につなげるための「ハザードマップ」の作成経費 など		
	平成25年度かほく市営バス事業特別会計補正予算（第1号）	14	0
	平成25年度かほく市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	14	0
	平成25年度かほく市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	14	0
平成25年度かほく市介護保険特別会計補正予算（第2号）	14	0	
平成25年度かほく市水道事業会計補正予算（第4号）	14	0	
平成25年度各会計の補正予算5会計については、年度末における事業実績見込みに伴う精算補正			
条例 (11件)	かほく市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について 消防組織法の改正に伴い、これまで政令で定められていた消防長及び消防署長の職に必要な資格に関する基準について、新たに条例で定めるもの	14	0
	かほく市営バスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について 市営バス停留所の名称を「かほく市高松庁舎前」から「かほく市高松北会館前」に変更するもの	14	0
	かほく市職員定数条例の一部を改正する条例について 消防職員の採用を標準化するために、一時的に定数を超えることとなる消防職員の定数の変更など改正するもの	14	0
	かほく市手数料条例の一部を改正する条例について 地方公共団体の手数料の標準に関する政令の改正に伴い改正するもの	14	0
	かほく市社会教育委員設置条例の一部を改正する条例について 社会教育法の改正に伴い、これまで法律で定められていた社会教育委員の委嘱の基準について改正するもの	14	0
	かほく市子ども医療費給付に関する条例の一部を改正する条例について 子育て支援の拡充を図るため、子ども医療費の助成対象年齢を「15歳まで」から「18歳まで」に拡大するもの	14	0
	かほく市障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例等の一部を改正する条例について 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の改正に伴い、審査会の名称を「障害程度区分認定審査会」から「障害支援区分認定審査会」に変更するもの	14	0
	かほく市大海交流センター条例の一部を改正する条例について 施設の管理を指定管理者に行わせるため改正するもの	14	0
	かほく市産業文化センター条例の一部を改正する条例について 施設管理及び運営を指定管理者から同センター内に移転した高松サービスセンターの直営管理へ変更するもの	14	0
	かほく市営駐車場条例の一部を改正する条例について 雇用促進住宅高松宿舎に係る駐車場を「高松駐車場」として市が管理することに伴い改正するもの	14	0
	かほく市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について 公共下水道事業及び農業集落排水事業を、地方公営企業法の財務規定に準じた会計方式を取り入れ、財務状況をより明確にすることにより、弾力的な企業経営を行うため改正するもの	14	0
その他 (2件)	財産の取得について 旧高松町の土地開発公社が先行取得した学園台地内の多目的福祉施設用地について、地方自治法並びに「かほく市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」の規定に基づき議会の議決を求めるもの	14	0
	公の施設の指定管理者の指定について 大海交流センター及び七塚中央公園多目的運動広場を一般財団法人かほく市公共施設管理公社に、サッカー・ラグビー競技場を特定非営利活動法人クラブパレットに、指定管理者として指定するもの	14	0

議決結果：議長は採決には加わりません。

質問2 Q&A

交付税の一本算定化に対する対応について

財源措置のある地方債を活用していく



質問1 Q&A

公共施設の跡地利用方針と今後の整備方針について

民間企業や民間活力を生かしていきたい

質問1 旧七塚庁舎・旧七福神センター 解体後の跡地利用の基本方針について。油野市長 旧七塚庁舎の跡地利用については、この場所は市街地の中心部国道159号や県道高松内灘線との交通アクセスが良く、敷地面積が約1千770坪の有効な土地であり、周辺状況も含めて企業誘致や公共施設の整備など、あらゆる可能性を念頭に慎重に検討していく。また旧七福神センターの跡地利用については、現地は大変景観に恵まれたロケーションであり、さらに平成25年4月より能登有料道路がのり山海道として無料化になるなど、交通の利便性も良く条件の良い場所であり、今後の開発については民間企業や民間活力を生かしていきたい。



解体される旧七塚庁舎

質問2 交付税の一本算定化に対する対応について。市長 超高齢化社会における社会保障費の増加など義務的経費の増加は避けられない状況である。市債の償還額は平成30年度にピークであると推計し、中期財政計画では、平成28年度決算見込みから、財政調整基金からの繰り入れが必要となる。市の財政運営は徐々に厳しくなるが、これまで積み立ててきた財政調整基金やまちづくり基金の活用、国・県の補助金、交付金など財源措置のある地方債を活用していく。

質疑・討論

第1回定例会において提出された議案に対し、1議員が反対、2議員が賛成の討論を行った。

26年度一般会計予算・25年度補正予算・追加議案について

反対討論

一般会計予算に反対 高橋成典議員 今年の予算では、地方消費税交付金は3億7千800万円、前年当初比で5千300万円増となっている。しかし、地方交付税普通交付税は、合併算定加算の減、事業費補正等の増もあるが、消費税増分の減などで6千万円の減。消費税増税分が結局、普通交付税で減っている。ところが、市が払う消費税増税分は、1億5千万円を超える負担増が予想される。消費税増税は、自治体財政と市民生活、日本経済に深刻な影響を与えるので反対。また、倒産した七福神センターの建物を1億4千万円と巨額の税金を使って取り壊すことに反対。

賛成討論

議案すべてに賛成 板谷悦郎議員 一般会計をはじめとする各会計の平成26年度予算の議案10件と、平成25年度補正予算の議案6件、条例などの予算以外の議案13件、全議案は各分科会において慎重審議を重ねてきたものであり、予算関係以外の議案についても、全員協議会及び総務建設常任委員会と市民文教常任委員会にて人念に審議を重ねてきたものである。各常任委員長報告では、提出議案はいずれも原案可決であり、議会の総意として全議案に賛成である。合併して11年目になり、新たな10年という未来に向けて重要な年にあたり、平成26年度の施策は4本柱を重要施策として取り組みを進めていくということであり、全議案に対して賛成する。

賛成討論

議案第30号に賛成 杉本成一議員 高橋成典議員をはじめ6名の市民が訴訟を起こした七塚観光(株)に関する裁判は、一般的に裁判ではなく、住民監査請求を監査委員から棄却され、それを経たずで起こした住民訴訟であり、「原告らの請求をいざれも棄却する」という判決が下つた今、監査委員の監査に対する不服だけでなく、市民に対して執行部への過度ともいえる不信をありたて、何よりも充分に審議のうえ議決をした議会に対する「蹂躪」そのものである。弁護士報酬として支払いが必要になった費用にかかる今回の補正予算は、敗訴した原告側による裁判のためであり、執行部にその責任を求めることが出来ないことから、自分の思いに反してやむを得ず賛成。

討論の文章は、本人の原稿を最大限に尊重し掲載しています

本会議終了後に現場視察を実施 「高松野球場」「サッカー・ラグビー場」

今定例会終了後に、現在整備された「高松野球場」及び「サッカー・ラグビー場」の現場視察を実施した。「高松野球場」は前年度のグラウンドなどの整備に続き、スコアボードを電光掲示板に改修し、夜間照明設備が更新された。「サッカー・ラグビー場」は、議会でも、観覧席が必要であると指摘した施設であり、旧高松陸上競技場を多目的競技場として、今回の整備により、人工芝のグラウンド・約200席の観覧席・駐車場・トイレも整備リニューアルされた。



サッカー・ラグビー場



整備された電光掲示板



高松野球場

質問2 Q&A

地域づくりを促進する専門部署設置の考えは

他市町を参考に検討する



質問1 Q&A

部活動を理由とした学校選択制の導入は

学校や地域の実情、通学条件により難しい

質問1 保護者から『中学校へ行ったら野球部に入りたいけど、数人しか入る予定がないと聞いているので他校へ入りたい』と相談を受けた。市では、通学区域に望む部活動がある場合は他校への入学は認めていない。保護者のニーズなどを踏まえて部活動を理由とした学校選択制を導入できないか。
A 遠田教育長 学校や地域の実情、通学条件、その他様々な事情があり、部活動だけを理由とした学校選択制の導入は難しい。しかし、今後は生徒数の減少という現実を踏まえ、1校ではチームづくりが大変難しくなっていることも想定されるため、今後、部活動のあり方について学校と連携を取りながら検討していく。
これまで学校選択制



全日本少年野球河北郡予選大会(宇ノ気・高松中学校)

質問2 かほく市について真剣に考え、このまちを良くしようとして取り組む「地域づくり人材育成講座」の参加者から、気軽に集える場所が必要との意見が多くあった。これからの行政には、まちづくりに意欲のある市民が気軽に集える空間とそれを実行に移すために事業をコーディネートする人材の育成が必要であると感じた。能美市では公共的課題に取り組む地域づくりの担い手、元気づくりの場、多様な活動をする協働のまちづくりの拠点として市民協働まちづくりセンターが設置されており、11名のコーディネーターが調整や支援を行っている。市でも市民主導による地域活動や地域づくりを促進する専門部署を市長部局に設置し、そこに地域づくりをコーディネーターとする人材を配置する考えはないか。
A 油野市長 来年度実施する市民大学校「地域づくりコース」の状況や地域活動補助金を活用したグループの取り組み状況を踏まえ、能美市の市民協働コーディネーターの状況も参考に検討する。

質問2 Q&A

「クラウドファンディング」による資金調達を

提案の仕組みの検討も含め研究を進める



質問1 Q&A

消防団の処遇と今後の改善を問う

可能な範囲内で消防団の処遇改善に努める

質問1 近年、局地的な豪雨や台風などの自然災害が頻発し地域防災力の強化が喫緊の課題となる中、消防団の重要性があらためて注目を集めている。昨年の臨時国会で、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立し、この法律のもと、消防団の処遇改善と装備の拡充が図られる事となり、地域防災の中核として消防団が位置付けられたことで、あらためて市でも消防団を軸とした防災体制の整備に取り組む好機であると思うが、現在の消防団の処遇と今後の取り組みは。
A 油野市長 全国的に消防団員が減少する中、県内19市町の中でも上位から2番目の充足率となっている。今後も引き続き、広報誌や各イベントなどで活動写真を展示するなど、



河北郡市消防団連合訓練

質問2 クラウドファンディングとは、賛同するアイデアやプロジェクトに対して、誰でも簡単に寄付や少額のお金を支払うことができるネット上の仕組みのことであり、今後税金に頼らない施策の一つとして、インターネットで不特定多数の人々から小口の資金を募り地域振興に活かそうとする取り組みである。市として任意のプロジェクトに対する資金調達を活用する仕組みを構築してはどうか。
A 市長 今後、予測される厳しい財政状況などを考えると、資金調達の面では有効な手段の一つであると思われる。しかし、現在のところ地方自治体において取り組んでいる事例が数少ないことや、資金が集まらなかつた場合の対処方法、資金調達のパートナーの民間法人の選定方法など、制度そのもののノウハウがまだ蓄積されていない。提案の仕組みの検討も含め、時機を捉えながら、市の魅力を広く発信し住んで良かったと思えるまちづくりに向けて研究を進めたい。

質問2 Q&A

グラウンド・ゴルフ場に新たな交流できる場を

現在はそのような施設建設の考えはない



質問1 Q&A

公契約条例の制定の考えはないか

業者経営に介入する恐れがあるので考えはない

質問1 全国的に公契約条例の制定が検討されている。建設・土木関係を取り巻く環境は、3Kと言われ若い人たちが敬遠されている。事業者の悩みは職人と...



改修前の高松グラウンド・ゴルフ場クラブハウス

質問2 高松グラウンド・ゴルフ場の改修予算が計上されているが、クラブハウスの女子トイレの改修が大部分である。雨天時の大会では昼食や表彰式など現在のクラブハウスでは手狭である。...

質問2 Q&A

全国122自治体で学校給食費の補助実施

学校給食費の補助制度は考えていない



質問1 Q&A

国が住宅リフォーム制度を予算化、市も対応を

国の制度を市民にPRする

質問1 今回、国が住宅リフォーム制度を予算化したことは一歩前進です。全国の地方自治体の取り組みや運動が国を動かした結果です。国土交通省は...



住宅リフォームしたキッチン

質問2 市は、4月から小学校の給食費を260円から10円値上げし270円。中学校も305円から10円値上げし315円にするとしている。給与が下がり、物価は...

上がっており、その消費費の増税8%で家計のやりくりは火の車です。とくに子育て世代の負担は大変であり、学校給食費の値上げはすべきではない。全国の122自治体では学校給食費への補助を行っている。市でも実施すべきではないか。...

質問3 消費税増税分は社会保障に回すという口実も、相次ぐ削減などで破綻している。消費税が創設されてから2014年度までの26年間の消費税込収入は、累計で282兆円である。しかし、大企業減税などで減収額は255兆円。これまでの消費税は、法人税などの減収の穴埋めには消えてしまった計算である。...

質問4 自治体の役割・仕事は「ゆりかごから墓場まで」といわれている。社会や人間関係の変化は、墓の世界にも大きな変化を及ぼしている。後継者がいない、子や孫に負担をかけたくない、そんな人々に応えた「合葬墓」は全国に2百近くある。市の高松・宇ノ気両墓地公園に検討すべきではないか。...

質問2 Q&A

区道や民有地に対する災害予防支援策の内容は

災害支援区道整備などの予防費用を創設



質問1 Q&A

宇ノ気川上流部の河川改修を示せ

26年度中に上田名橋の改修を行う

質問 1 現在の3箇所の自歩道整備と交差点改良事業にかかるとの進捗状況は、また、高松市内における事業採択の見直しは。

回答 1 現在3箇所の自歩道整備と交差点改良事業にかかるとの進捗状況は、また、高松市内における事業採択の見直しは。



橋が見えないくらいの氾濫（宇ノ気川上流部）

質問 2 宇ノ気川上流部の未改修区間の整備については、河川の現況調査や氾濫原因の解析を行う上で必要な対策を検討していくとのことであり、市内二級河川の浚渫については、現在、広範囲にわたって工事を実施しているとの説明を受けた。

回答 2 宇ノ気川上流部の未改修区間の整備については、河川の現況調査や氾濫原因の解析を行う上で必要な対策を検討していくとのことであり、市内二級河川の浚渫については、現在、広範囲にわたって工事を実施しているとの説明を受けた。

質問 2 区道や民有地などに対する災害、予防支援策を高く評価するが、その内容は。

回答 2 区道や民有地などに対する災害、予防支援策を高く評価するが、その内容は。

質問2 Q&A

全国学力・学習調査の学校別成績公表の対応は

学校の序列化を招くことから公表をしない



質問1 Q&A

国道及び「東西幹線道路」整備事業の進捗状況は

用地取得済み区間は順調に事業が進んでいる

質問 1 現在3箇所の自歩道整備と交差点改良事業にかかるとの進捗状況は、また、高松市内における事業採択の見直しは。

回答 1 現在3箇所の自歩道整備と交差点改良事業にかかるとの進捗状況は、また、高松市内における事業採択の見直しは。



国道159号線の自歩道整備状況

質問 2 宇ノ気川上流部の未改修区間の整備については、河川の現況調査や氾濫原因の解析を行う上で必要な対策を検討していくとのことであり、市内二級河川の浚渫については、現在、広範囲にわたって工事を実施しているとの説明を受けた。

回答 2 宇ノ気川上流部の未改修区間の整備については、河川の現況調査や氾濫原因の解析を行う上で必要な対策を検討していくとのことであり、市内二級河川の浚渫については、現在、広範囲にわたって工事を実施しているとの説明を受けた。

質問 2 区道や民有地などに対する災害、予防支援策を高く評価するが、その内容は。

回答 2 区道や民有地などに対する災害、予防支援策を高く評価するが、その内容は。



# 予算 決算 常任 委員会

## 全議員による分科会方式

議会初日に、予算決算常任委員会を開催し、議案説明を受け質疑を行った。

地方消費税交付金は消費税が上がることで増額となるが、歳出で同程度減額になっているのはとの問いに、国は消費税交付金は地方交付税の計算上歳入と見なすと明言しているため、このような編成とした、との答弁であった。

これらの質疑を経て詳細な審議を分科会で行った。

区や所有者になることから、工事に対するサポート体制は、庭田都市建設課長補佐補助率は、県内市町の平均的な要件に準じて策定し、事業主体者に対しては、積算などの支援を行う。

**杉本成一委員**  
消防救急デジタル無線システム整備事業で、債務負担行為と地方債計上の関係は、中田財政課長

この事業は2市2町の負担金と市単独事業で、2カ年で行い、共同部分の工事負担金に地方債を充当する。

**杉本成一委員**  
「滞納繰越分」が前年度と同額であるが、滞納の全体額及び収納状況は、川崎税務課長

未納額は約3億4千万円である。  
滞納整理機構に参加することで収納率が改善された。

総務建設分科会 審査案件	
平成26年度かほく市一般会計予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧七塚庁舎及び旧七福神センターを取り壊し、跡地利用として企業誘致等に活用する予算を計上</li> <li>・生活支援道路（地区要望）の維持修繕費計上</li> <li>・かほく市観光物産協会の設立費計上</li> <li>・雇用促進住宅の取得整備費計上</li> <li>・緊急車両の更新費計上（宇ノ気第三分団）</li> <li>・地区集会施設の改修・耐震化などへの補助費計上</li> </ul>
平成25年度かほく市一般会計補正予算（第6号）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ため池ハザードマップ作成業務委託費計上</li> </ul>
平成26年度かほく市特別会計予算（6件）	
平成25年度かほく市特別会計補正予算（2件）	
内容	
賛成意見 全委員 反対意見 無	

賛否意見数に委員長は含まれません。

**総務建設分科会**

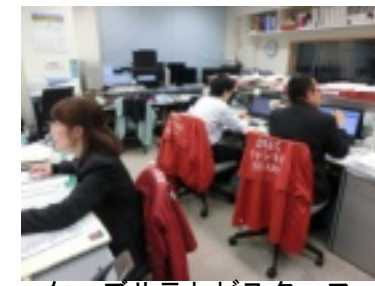
**おもな質疑**

**安達分科会長**  
区道整備及び、がけ地防災対策工事補助金交付要綱が制定され、補助率の根拠、事業主体が町会・

**板谷委員**  
イノシシを駆除した場合、冬場は処分出来るが、夏場の処分方法と食肉としての活用方法は、

**瀬戸産業振興課長**  
犬猫の火葬場があるので考えていない。  
食肉として流通する場合は、保健所の許可がある施設で解体を行う必要がある。

**杉本成一委員**  
ケーブルテレビ事業特会計には人件費が入っていない、更新経費が一般会計に計上されている。全家庭が加入しても、使用料減額は難しい。この事業を単なる営利事業と捉えると赤字があれば批判を受けるが、自治体として取り組むべき公共事業として実施している。



ケーブルテレビスタッフ

**山口企画情報課長**  
会計には人件費が入っていない、更新経費が一般会計に計上されている。全家庭が加入しても、使用料減額は難しい。この事業を単なる営利事業と捉えると赤字があれば批判を受けるが、自治体として取り組むべき公共事業として実施している。

## がけ地防災対策工事などに補助金

## 不法投棄監視員配置に効果あり

**市民文教分科会**

**おもな質疑**

**寺内委員**  
不法投棄監視員配置の効果は、多々見市民生活課長

確実に効果がでており、警察との連携で検挙に至るケースもある。

**猪村委員**  
住民基本台帳システムにソフト使用料はなく、戸籍システムのソフト使用料があるのなぜか。西村市民生活課長補佐

メーカーの使用許諾料がかかるため使用料として計上している。

**高橋委員**  
ベレットボイラーの助成拡充で、設備は高額なのに助成額が少ないのでは。

市民生活課長  
市単独の助成で木質系のためベレットストーブと同額助成としており、



不法投棄は許されない！

市民文教分科会 審査案件	
平成26年度かほく市一般会計予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども医療費の助成対象を18歳まで拡充する予算を計上</li> <li>・宇ノ気中央総合保育園の整備費計上</li> <li>・西田幾多郎記念哲学館展示施設の改修費計上</li> <li>・給食センター施設の長寿命化のための設備更新費計上</li> <li>・体育施設（高松グラウンド・ゴルフ場拡張整備など）の整備改修費計上</li> </ul>
平成26年度かほく市特別会計予算（3件）	
平成25年度かほく市一般会計補正予算（第6号）	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各小・中学校非構造部材耐震化工事費計上</li> </ul>
平成25年度かほく市特別会計補正予算（3件）	
賛成意見 全委員 反対意見 無	

賛否意見数に委員長は含まれません。

今後需要を見ながら検討する。

**高橋委員**  
出生数が減少しており、人口増加のため、赤ちゃみんすくすく応援事業の内容を充実する予定は、

**杉本成一分科会長**  
キャンプ場での収入は

**能任子育て支援課長**  
市単独の事業で県内トップレベルと認識しており、今後、他の施策も踏まえ検討する。

**金田分科副会長**  
福祉巡回バスとイオン専用バスが巡回しており、福祉巡回バスの乗車率はどうか。

**越井健康福祉課長**  
福祉巡回バスは、以前増えていたが、現在少しずつ減少している。

**審査の結果**

一般会計予算（賛成13・反対1）

市営バス事業  
特別会計予算  
墓地特別会計予算  
ケーブルテレビ事業  
特別会計予算  
国民健康保険  
特別会計予算  
後期高齢者医療  
特別会計予算  
介護保険特別会計予算  
大海財産区  
特別会計予算  
水道事業会計予算  
下水道事業会計予算  
一般会計  
補正予算（第6号）  
市営バス事業特別会計  
補正予算（第1号）  
国民健康保険特別会計  
補正予算（第1号）  
後期高齢者医療特別会計  
補正予算（第1号）  
介護保険特別会計  
補正予算（第2号）  
水道事業会計  
補正予算（第4号）  
（以上15件、全員賛成）

総務建設常任委員会

市営駐車場料金改定！

おもな内容  
(所管事項含む)

市営駐車場条例の改正  
雇用促進住宅高松宿舎  
の駐車場を「高松駐車場」とし、使用料金を近隣の市営住宅の駐車場料金と同額の1ヶ月1千575円とするもの。



市営バス設置及び管理に関する条例の改正  
高松庁舎の廃止に伴い、バス停留所をかほく市高松庁舎前」から「市高松北会館前」に改めるもの。  
大海交流センター条例の改正  
施設の管理を4月1日から指定管理者に行わせ、施設の収入を使用料から利用料金に改めるもの。  
市高松産業文化センター条例の改正  
施設の管理を「かほく市商工会」から、「高松サービスセンター」への

直接管理に改めるもの。  
公の指定管理者の指定について  
「大海交流センター」と「七塚中央公園多目的運動広場」は、一般財団法人かほく市公共施設管理公社が、「サツカー・ラグビー場」は、特定非営利学校法人クラブパレットが4月1日から5年間指定管理を行うもの。

以上、条例改正などの内容説明を受け、慎重審査を行った。

審査の結果

消防長及び消防署長の資格を定める条例  
市営バスの設置及び管理に関する条例の改正  
職員定数条例の改正  
手数料条例の改正  
大海交流センター条例の改正  
産業文化センター条例の改正  
市営駐車場条例の改正  
水道事業の設置等に関する条例の改正  
公の施設の指定管理者の指定  
(以上9件、全員賛成)

- 総務建設常任委員会  
委員長 安達 肇  
副委員長 多々見 武  
委員 別宗 明敏  
杉本 成一  
多々見邦次  
金子 猛  
板谷 悦郎

市民文教常任委員会

子ども医療費対象年齢を18歳に引き上げ！

おもな内容  
(所管事項含む)

子ども医療費給付に関する条例の改正  
子育て支援の拡充を図るため、子ども医療費の助成対象年齢を「15歳」から「18歳」に引き上げるもの。

土地開発公社が先行取得していた学園台地内の多目的福祉施設用地、5千77・86㎡を1億4千931万4千495円で、買戻しをするため、地方自治法並びに「かほく市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」の規定に基づき議決するもの。

社会教育委員設置条例の改正  
地方分権一括法による社会教育法の改正に伴い、これまで法律で定められていた社会教育委員の委嘱の基準について、文部科学省令を参酌して、条例で定めるもの。  
障害程度区分認定審査会の委員定数等を定める条例等の改正  
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の改正に伴い、審査会の名称を「障害程度区分認定審査

社会教育委員設置条例の改正  
子ども医療費給付に関する条例の改正  
障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例等の改正  
財産の取得  
(以上4件、全員賛成)

市民文教常任委員会  
委員長 杉本 正一  
副委員長 金田 正信  
委員 猪狩 博靖  
寺内 照雄  
竹内 幹雄  
高橋 成典  
坂井 正朝



「議会報告会」開催報告

各常任委員会と各種団体との意見交換を主眼に開催

議会運営委員会で  
開催手法を検討

議会運営委員会において、議会報告会の開催手法を学ぶため、昨年の9月、松本市と高山市を視察（視察内容は議会だより41号に掲載）し、これまでの単なる議会からの一方的な「議会報告」ではなく、より多くの市民と意見交換をすることで、地域の課題、市民のニーズを把握し、議会としてその課題解決に向けて取り組むことが重要であると学んだ。

この視察研修で学んだことを生かし、議会運営委員会で、開催手法を検討し、今回は、総務建設・市民文教の2常任委員会において、それぞれの所管に係る団体との意見交換を主眼とした「議会報告会・意見交換会」を開催することとした。

総務建設常任委員会は  
商工会建設部会と意見交換

2月20日（木）市商工会建設部会の宮前部会長をはじめとする役員9名と意見交換会という形で開催した。  
安達委員長の挨拶で開会し、沖津議長より第3回（9月）第4回（12月）議会定例会での審査内容について報告した。



その後、テーマである「現在の経済・景気の状態」について、表副部会長から、全国的な傾向、県内の状況、市内の状況を聞き、説明の中で、特

市民文教常任委員会は  
校長会と意見交換

2月4日（火）市内の小中学校の校長9名と意見交換会という形で開催した。  
杉本正一委員長の開会挨拶、自己紹介の後、会談を始めた。  
沖津議長より第3回（9月）第4回（12月）議会定例会での審査内容について、特に学校現場に関する予算・決算審査の概要報告をした。



その後、テーマである「学力向上に向けた取り組み」について、高松小



その後、自由質疑として、いじめなどの問題、35人学級、二期制などの多くの課題について、学校長の意見を求め、大変意義のある意見交換となった。